

C V 22 オスプレイの横田基地配備に反対する意見書

日米両政府は5月12日、米空軍が垂直離着陸輸送機C V 22 オスプレイ 10機を横田基地に配備すると発表した。2017年後半に3機を配備し、2021年までに7機を追加する。市域の3分の1が横田基地に占められている福生市を初め周辺自治体では、突然の発表に住民の不安と怒りの声が広がっている。

オスプレイは開発段階から事故を繰り返しており、量産決定後の2006年から5年間に58件の事故を起こしている。横田基地への配備発表直後の5月18日には、ハワイでMV22 オスプレイが墜落事故を起こし、乗組員が死亡した。今回、横田基地に配備されるC V 22 オスプレイは、このMV22と比較し、事故を起こす割合が格段に高くなっている。C V 22 オスプレイは2010年4月、アフガニスタンで作戦中に墜落し4人が死亡、2012年6月に、フロリダ州で墜落事故を起こしている。

横田基地に配備されるC V 22 オスプレイは、米軍の特殊作戦部隊の任務のため、低空飛行訓練や夜間飛行訓練、特殊作戦部隊との共同訓練を実施すると報道された。横田基地周辺には住宅が密集し、基地の半径3キロメートル以内にある小・中学校は30校を超え、保育園や病院、老人ホームも多数存在しており、事故が起きれば大惨事になることは明らかである。既に横田基地では、特殊作戦部隊によるパラシュート降下訓練が頻繁に行われており、年間1万回を超える離着陸など、騒音被害はもとより、人命にかかわる事故の危険に常にさらされている。この間、沖縄に配備されたオスプレイが、横田基地や厚木基地に飛来しており、その飛行は狛江市でも目撃されている。

よって狛江市議会は政府等に対し、C V 22 オスプレイの横田基地配備に反対し、その撤回を米国政府に求めるよう強く要請するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

2015年7月2日

東京都狛江市議会

平成27年7月2日 原案否決